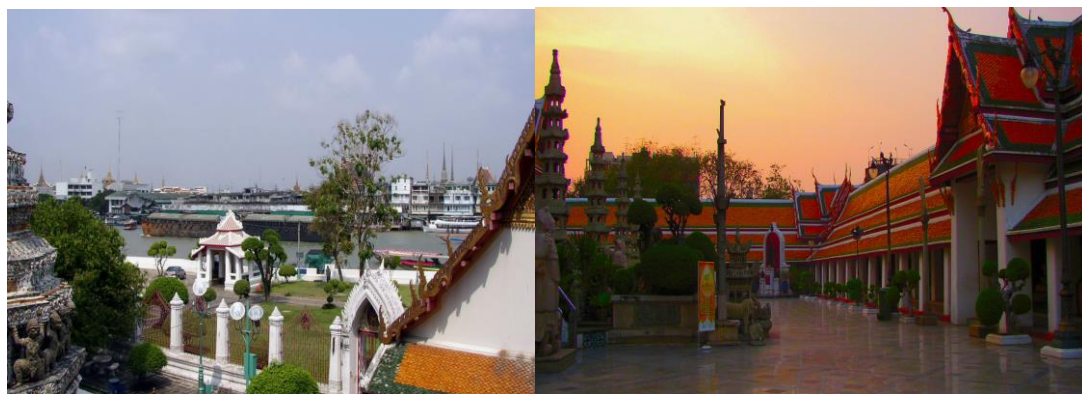


2016年日系企業景気動向調査



毎年、バンコク日本人商工会議所で、日系企業景気動向調査を実施していますが、この調査は、タイで事業を展開する日系企業の動向を包括的に把握できる唯一の調査であり、現段階の景気状況の資料として、非常に役立つ情報になります。

同調査では産業別に数字が記載されていますが、設備投資については、鉄鋼・非鉄、輸送用機械関係の分野は、投資減とする傾向が強くなっており、逆に、食料品、繊維関係の分野は、横ばい、もしくは、投資増の傾向が強くなっています。

【2016年度の設備投資動向（製造業）】

投資増 25%、横ばい 31%、投資減 36%

単位：件数、（ ）は構成比（%）

	回答企業数				合計
	投資増	横ばい	投資減	未定	
食料品	3 (38)	3 (38)	1 (13)	1 (13)	8
繊維	6 (40)	3 (20)	4 (27)	2 (13)	15
化学	10 (24)	17 (40)	10 (24)	5 (12)	42
鉄鋼・非鉄	8 (29)	7 (25)	13 (46)	0 (0)	28
一般機械	5 (20)	9 (36)	5 (20)	6 (24)	25
電気・電子機械	13 (24)	17 (31)	21 (38)	4 (7)	55
輸送用機械	11 (17)	16 (25)	34 (53)	3 (5)	64
その他	12 (31)	13 (33)	11 (28)	3 (8)	39
製造業全体	68 (25)	85 (31)	99 (36)	24 (9)	276

## 【2016年上期（1月～6月）の輸出動向】

増加 39%、横ばい 46%、減少 15%

単位：件数、( )は構成比(%)

業種	増加				横ばい (不変)	減少				合計
	合計	20%超増	10～20%増	10%未満増		合計	10%未満減	10～20%減	20%超減	
食料品	5 (63)	1 (13)	3 (38)	1 (13)	2 (25)	1 (13)	1 (13)	0 (0)	0 (0)	8
繊維	8 (53)	0 (0)	2 (13)	6 (40)	6 (40)	1 (7)	1 (7)	0 (0)	0 (0)	15
化学	16 (37)	3 (7)	6 (14)	7 (16)	21 (49)	6 (14)	5 (12)	1 (2)	0 (0)	43
鉄鋼・非鉄	10 (37)	2 (7)	2 (7)	6 (22)	13 (48)	4 (15)	1 (4)	1 (4)	2 (7)	27
一般機械	9 (36)	0 (0)	4 (16)	5 (20)	12 (48)	4 (16)	3 (12)	1 (4)	0 (0)	25
電気・電子機械	14 (27)	3 (6)	2 (4)	9 (18)	27 (53)	10 (20)	5 (10)	3 (6)	2 (4)	51
輸送用機械	25 (43)	5 (9)	6 (10)	14 (24)	23 (40)	10 (17)	6 (10)	3 (5)	1 (2)	58
その他	14 (40)	0 (0)	3 (9)	11 (31)	14 (40)	7 (20)	5 (14)	1 (3)	1 (3)	35
製造業全体	101 (39)	14 (5)	28 (11)	59 (23)	118 (45)	43 (16)	27 (10)	10 (4)	6 (2)	262
商社	27 (39)	4 (6)	6 (9)	17 (25)	34 (49)	8 (12)	3 (4)	2 (3)	3 (4)	69
小売	3 (43)	2 (29)	1 (14)	0 (0)	4 (57)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7
その他	5 (50)	2 (20)	2 (20)	1 (10)	5 (50)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10
非製造業全体	35 (40)	8 (9)	9 (10)	18 (20)	44 (50)	9 (10)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	88
全体	136 (39)	22 (6)	37 (11)	77 (22)	162 (46)	52 (15)	30 (9)	13 (4)	9 (3)	350

出所：JCC（バンコク日本人商工会議所）2015年下期日系企業景気動向調査

JCC会員企業1,669社 回答企業数：513社 回収率：30.7%

タイ内閣府が、2016年3月7日に発表した景気に関する基調判断は据え置き、9カ月連続で「足踏みを示している」と判断したように、JCCの調査結果でも景気に対する数値は、投資増の分野もあるものの、全体では、横ばいが一番多い回答になっています。

小職もにおいて、景気に関してあまりよくないことを耳にしていたこともあり、この数字に関して納得がいく結果と感じています。しかし、景気動向が横ばいの状態ではありませんが、日系企業のタイ進出の相談件数については、例年に比べて横ばいもしくは、特にサービス業については、増えている傾向になっています。現在、タイ商務省に登録されている日系企業は8890社（日本企業または日本人出資が10%以上を占めるタイ法人）を超え、JETROバンコクで、2015年6月に発表した「タイ日系企業進出動向調査2014」によれば、活動が確認できた日系企業数は4567社で、前回調査(2008年)に比べて、683社も増加しています。

なぜ、タイ進出を考える企業が減らないのでしょうか。ASEAN経済共同体の発足（2015年12月31日）など紙面上では、賑わいを見せていますが、国の法律、経済状態、雇用問題、宗教など国によって全く状況が違うのは言うまでもありません。世界の工場など言わ

れている ASEAN の中で、タイはカンボジア、ミャンマーなど隣国に比べて、人件費など決して安い国ではありません。また、モノやサービスの市場としても、単純に人口が 6500 万人強では、人口が多い、インドネシアやフィリピンの方が、魅力があるのではないのでしょうか。その理由については、次回より数回に分けて、レポートしていきます。

## 【岡山県タイビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク (株式会社アークビジネスサーチ内) >>

【所在地】: 東京都千代田区神田小川町 1-11-8 大竹ビル 7 階

【担当者】: 志賀 敦 (しが あつし)

<<タイ/バンコク現地デスク (ARK ENTERPRISE CO., LTD. 内) >>

【所在地】: 138 Boonmitr Bldg., 3rd Floor, Rm. A2, Silom Rd., Suriyawong, Bangrak Bangkok, 10500 Thailand

【担当者】: 福田 淳 (ふくだ じゅん)

※「岡山県タイビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のタイでの事業展開を支援しています（岡山県からの委託業務）。ご利用にあたっては、[「岡山県タイビジネスサポートデスク」利用の手引き](#)をご覧ください。また、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#) (086-226-7365) までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のタイでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応していません。